

2011~2012年度 IM第8組報告

大阪帝塚山RC 会長 西尾良一
IM実行委員長 泉 博朗

テーマ：「指導者のあり方を明治維新に学ぶ」
－ 西郷南洲翁遺訓を通して
西郷隆盛公の高潔性を学ぶ－

ホストクラブ：大阪帝塚山RC
日時：2012年5月12日（土）13：00-16：30
場所：大阪科学技術センター大ホール
出席会員数：161名（会員数317名）
参加クラブ（IM第8組）：

大阪アーバンRC、大阪イブニングRC、大阪咲洲RC、大阪城南RC、大阪天王寺RC、大阪東南RC、大阪平野RC、大阪帝塚山RC

第8組IM開催にあたり、皆様方のご協力に感謝いたします。開催直前に6クラブの合同例会を移動例会として頂き、クラブの負担軽減、クラブ会員の費用負担の軽減、そして何よりも多くの会員の皆様にIMに参加をいただく事を、重点的に考えました結果、泉IM実行委員長の発案の下、このような企画になりました。

本日のテーマは、
「指導者のあり方を明治維新に学ぶ」
－ 西郷南洲翁遺訓を通して

西郷隆盛公の高潔性を学ぶ－

という事で、基調講演は西郷隆盛翁の曾孫にあたる西郷隆文様でございます。演題は「西郷隆盛公の人となり」であります。現在の日本が置かれている状況は、外交では外圧にさらされ、経済活動では大手企業が苦戦を強いられ、政治の世界では互いに足の引っ張り合いで、重要法案も土俵にすら載せられず、国内の一番大事な関心事の震災復興、原発事故処理が遅々として進まず、ただ時間を無駄にしているように感じます。



パネル・ディスカッションでは、「指導者のあり方を明治維新に学ぶ」をテーマとし、パネリストは西郷隆文氏（西郷隆盛公奉賛会理事長、隆盛公曾孫）

島津義秀氏（島津義弘公奉賛会理事長、加治木島津家13代当主）

竹川修司（大阪帝塚山RC次期会長）の3名の方々進行役は 泉 博朗（IM実行委員長）で進めさせて頂きました。

江戸末期は今の日本の状況と酷似していると思われる中で、我々が如何にすべきかを島津斉彬公、西郷隆盛公の考え方、そして薩摩に伝わる「郷中教育」について研修させていただきました。

郷中教育の教え

・うそをいうな ・負けるな ・弱い者をいじめるな
島津いろは歌

いにしへの 道を聞いても唱へても わが行いに
せずば かいなし

西郷隆盛公 漢詩「感懐」

幾たびか辛酸を経て 志始めて堅し

丈夫玉碎して軛全を愧ず

一家の遺事人知るや否や

児孫の為に美田を買わず

最後になりましたが、多数の地区役員の皆様方、ご出席をいただいた会員の皆様方、あらためまして心より感謝申し上げます。

（講演ならびにパネル・ディスカッションの記録画に若干の残りがございますのでご希望の方は大阪帝塚山RC事務局までお申し込み願います。なくなりました場合はご容赦願います。）

